

「慰霊の日」特設授業「あなたは『平和』ですか？

令和7年6月20日(金) 1校時 @本校

本校元校長 前田 比呂也 氏（現在県立博物館・美術館勤務、県立芸術大学・琉球大学講師）を講師に招き、平和講演会「あなたは平和ですか？」を実施しました。

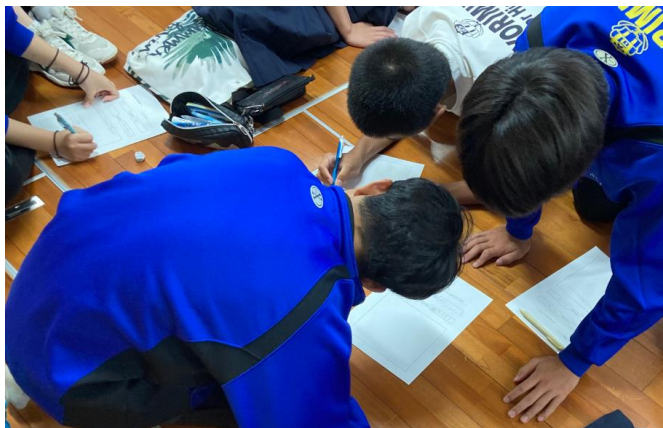
今年、戦後80年を迎え、日本は80年間戦争がない現状ではあるが、
日本は「平和」ですか？ 沖縄は「平和」ですか？ 寄宮中学校は「平和」ですか？
学級は「平和」ですか？ あなたの家は「平和」ですか？

と生徒は問いかけられ・・・

当初（1回目の問い）「平和」の反対（対義語）は「戦争」「苦しみ」等と回答していた生徒が2回目には、「差別」「理不尽」「不公平」「無責任」「自分らしくいられないこと」「人を人として受け入れないこと」等と「平和」を自分事として考えていました。

「平和とは？」を考えさせられる貴重な時間でした。

慰霊の日 特設授業
あなたは「平和」ですか？



個人の意見を書いている場面



平和について・意見交換している3年生



平和の反対（対義語）は？

▶「無責任」（3年：漢那琉唯さん）

平和っていうのは誰かに責任があるこそその平和だと思いました。誰かに悪口をいうにも責任が必要だし、その人がそれで亡くなったら本当に責任が取れるのか。だから反対が「無責任」だと思った。

▶「死にたいとか苦しいって思う状況」（3年：渡口茉瑠さん）

戦争を含め、いじめ、差別などで死にたいとか苦しいって思う状況は穏やかで幸せに暮らせる平和とは逆のことだと思うから。

▶「自分らしくいけないこと（差別される）」（3年 仲宗根早彩さん）

最初は戦争ばかりが平和の対義語だと思っていたけど、講話を通して、今、日本にある課題は戦争だけじゃなくて差別や基本的人権の尊重が必要だと思ったから。

▶生徒代表お礼の言葉（3年：城間奏乃さん）

今回の講話で、「戦争が起こらないことが平和」ではないとあらためて認識しました。沖縄戦が終結してもなお続く米軍による事故の数々を知って、前田さんの「国籍によって命の重みが違う」という言葉を聞いた時、戦争だけではない基地問題のみならず、虐待、いじめ全てが戦争と同等の苦しみだと思いました。

平和とは、すべての人の暮らしが放棄されず、人間が人間らしく生きていけることだと思います。私たちは沖縄で生まれ小さいころから「平和」を考えることが多いからこそあらゆる視点から平和を見つめ、今の世界を眺めてみるのが大切だと思いました。「戦後」といわれるけど今年の慰霊の日は、戦争を風化させないことだけでなく、今回学んだことを生かし、自分の思う本音の平和を見つめなおしながら私たちの担う後世の平和を考えて慰霊の日を過ごしたいです。今日はすばらしい講話をありがとうございました